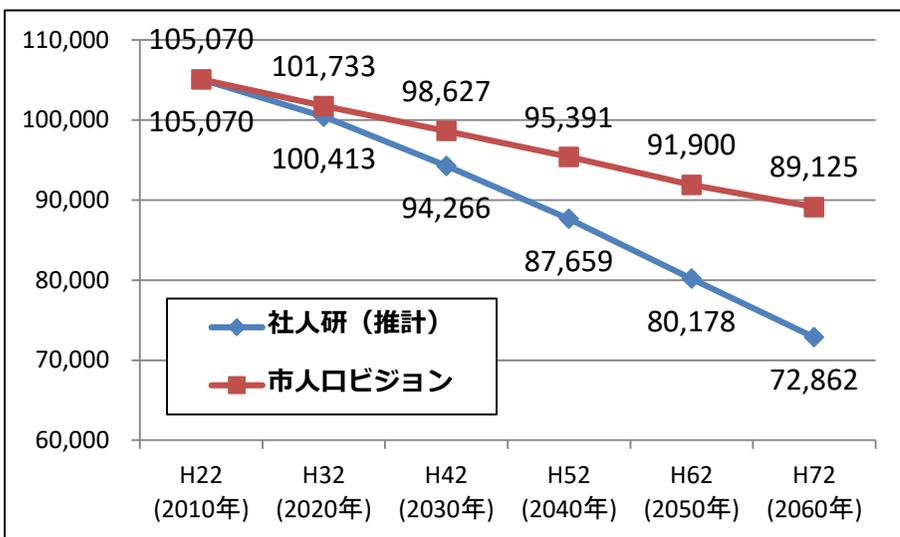


第2期 鹿屋市まち・ひと・しごと創生 総合戦略の取組状況等について

令和3年10月
鹿屋市政策推進課

鹿屋市人口ビジョン



※社人研：国立社会保障・人口問題研究所

<人口の将来目標>

2060年に9万人程度の人口を維持する

①自然増減

2030（平成42）年に合計特殊出生率が2.1となるように段階的に引き上げる。

②社会増減

2020（平成32）年までに転入・転出を均衡させる。

第2期鹿屋市総合戦略

5つの
基本目標

13の
基本施策

79の
事業

■基本目標① やってみたい仕事ができるまち

- ・活力ある農林水産業の振興
- ・商工業の振興と雇用の促進

■基本目標② いつでも訪れやすいまち

- ・地域資源を生かした観光の推進
- ・スポーツによる交流の推進
- ・移住・定住の推進

■基本目標③ 子育てしやすいまち

- ・子育て支援の充実
- ・未来につながる教育の充実

■基本目標④ 未来につながる住みよいまち

- ・快適な生活基盤づくりの推進
- ・安全で安心な生活の実現
- ・自然環境にやさしいまちづくりの推進

■基本目標⑤ ともに支えあい、

いきいきと暮らせるまち

- ・地域福祉の充実
- ・健康づくり・生きがいづくりの推進
- ・共生協働・コミュニティ活動の推進

2-1 目標人口と年度別推移（実績等）

年	①社人研	②人口ビジョン	③実績	③実績－ ①社人研	③実績－ ②人口ビジョン
H26	—	—	104,077	—	—
H27	102,974	103,177	103,608	<u>+634</u>	<u>+431</u>
H28	102,462	102,888	103,185	<u>+723</u>	<u>+297</u>
H29	101,950	102,599	103,036	<u>+1,086</u>	<u>+437</u>
H30	101,437	102,311	102,397	<u>+960</u>	<u>+86</u>
R01	100,925	102,022	101,757	<u>+832</u>	<u>-265</u>
R02	100,413	101,733	<u>101,204</u>	<u>+791</u>	<u>-529</u>
R03					
・	・	・	・	・	・
R42	72,862	89,125	—	—	—

27～02の人口の差を
各年度に按分

※：国勢調査(H27、R2(速報))、県人口移動調査(H26、H28～R元)各年10月1日現在

平成27～令和2年度の人口（実績）について

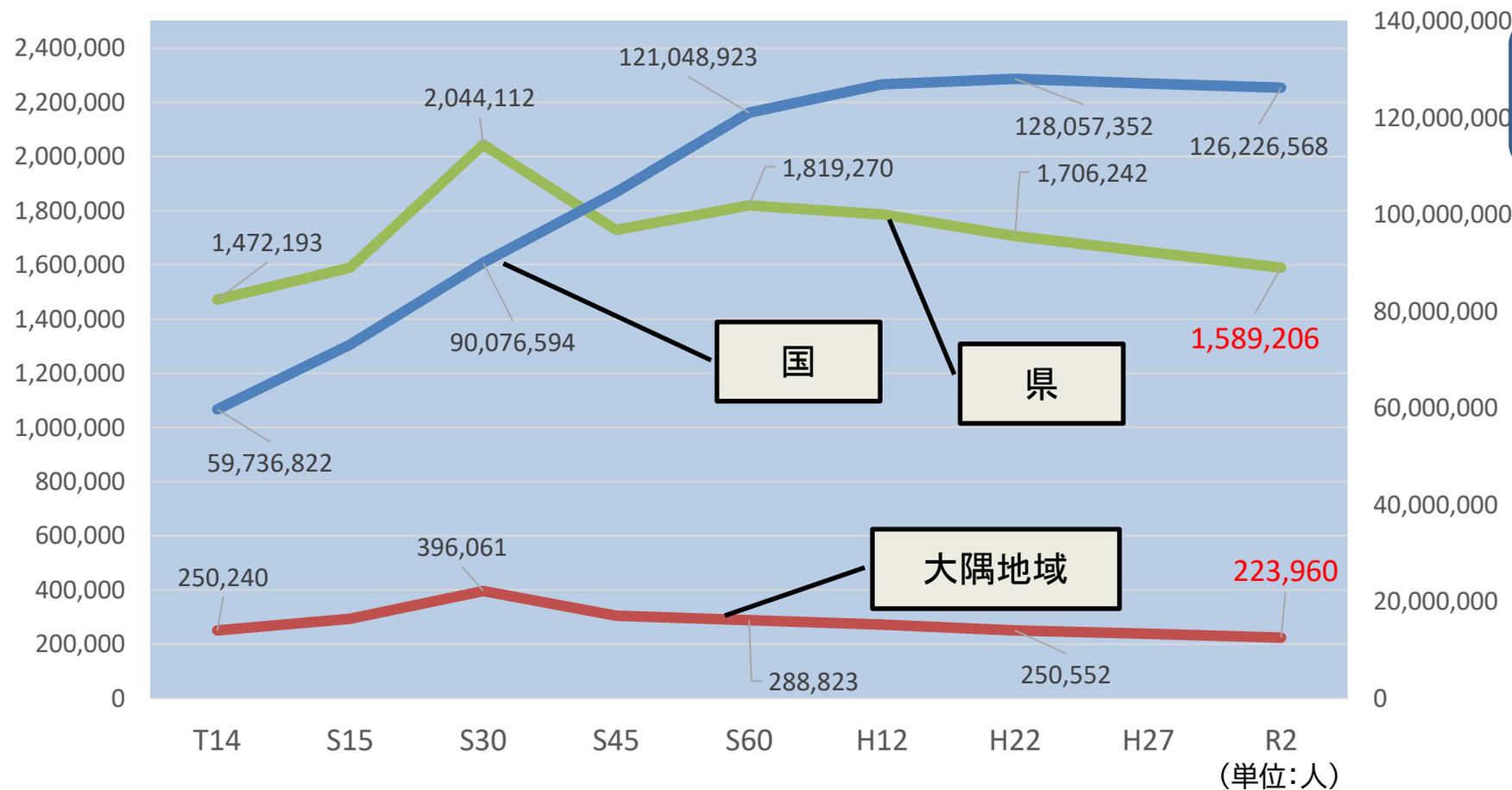
- 本市の人口（H27～R2実績値）は平成26年から減少し続けており、H26から6年間で、約2,800人減少している。
- 社人研の推計値は上回っているが、本市が策定した人口ビジョンの推計値より早いスピードで減少している。

2-2 令和2年国勢調査速報値

令和2年国勢調査による全国の人口は、**126,226,568人**であり、
前回（H27年）より**△868,177人（減少率:△0.68%）**

鹿児島県は、1,589,206人 前回より△58,971人（減少率△3.57%）

大隅地域は、223,960人 前回より△14,104人（減少率:△5.92%）



垂水市、大崎町が消滅する規模で減少！

出典：R2国勢調査速報値

— 大隅地域 — 県 — 国

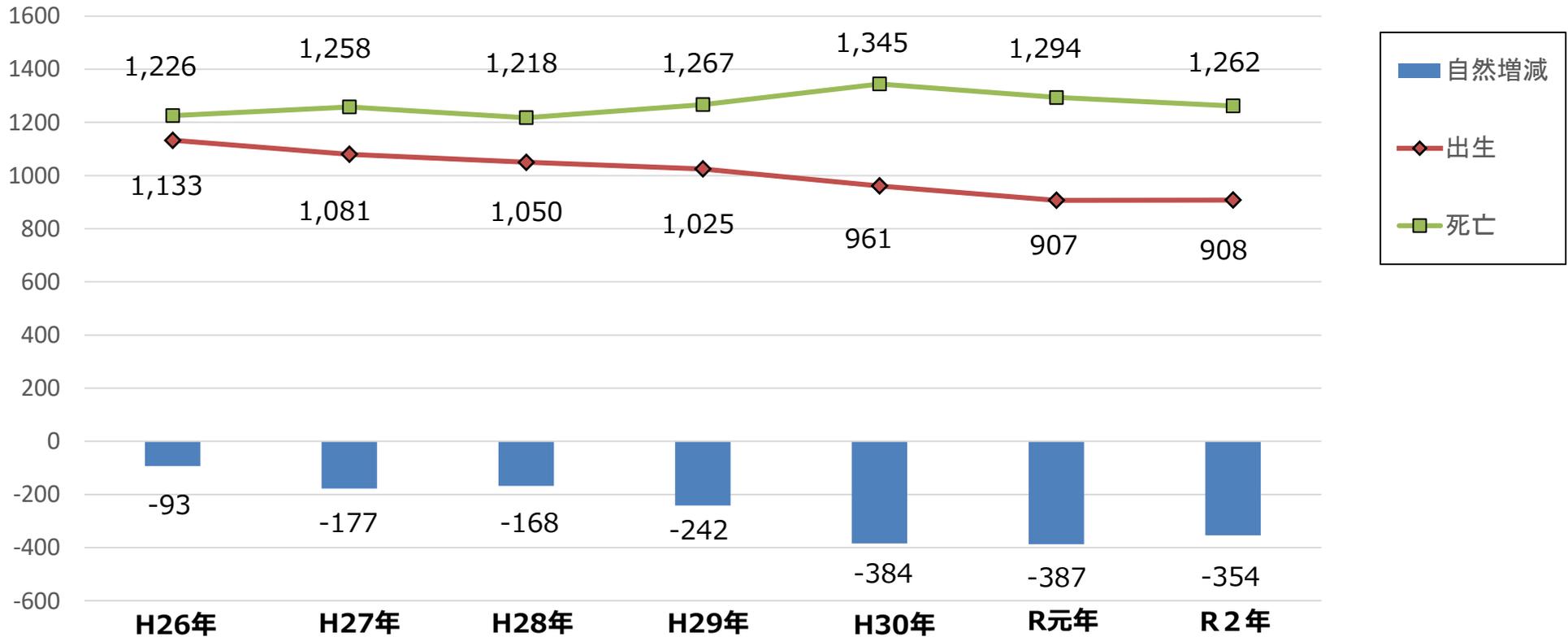
2-2 令和2年国勢調査速報値

■人口動態（鹿屋市、薩摩川内市、霧島市の比較）

※人口減少率を比較すると、鹿屋市は、薩摩川内市より低く、霧島市より高い。
鹿屋市は、101,204人 前回より△2,404人（減少率:△2.32%）



自然増減の推移

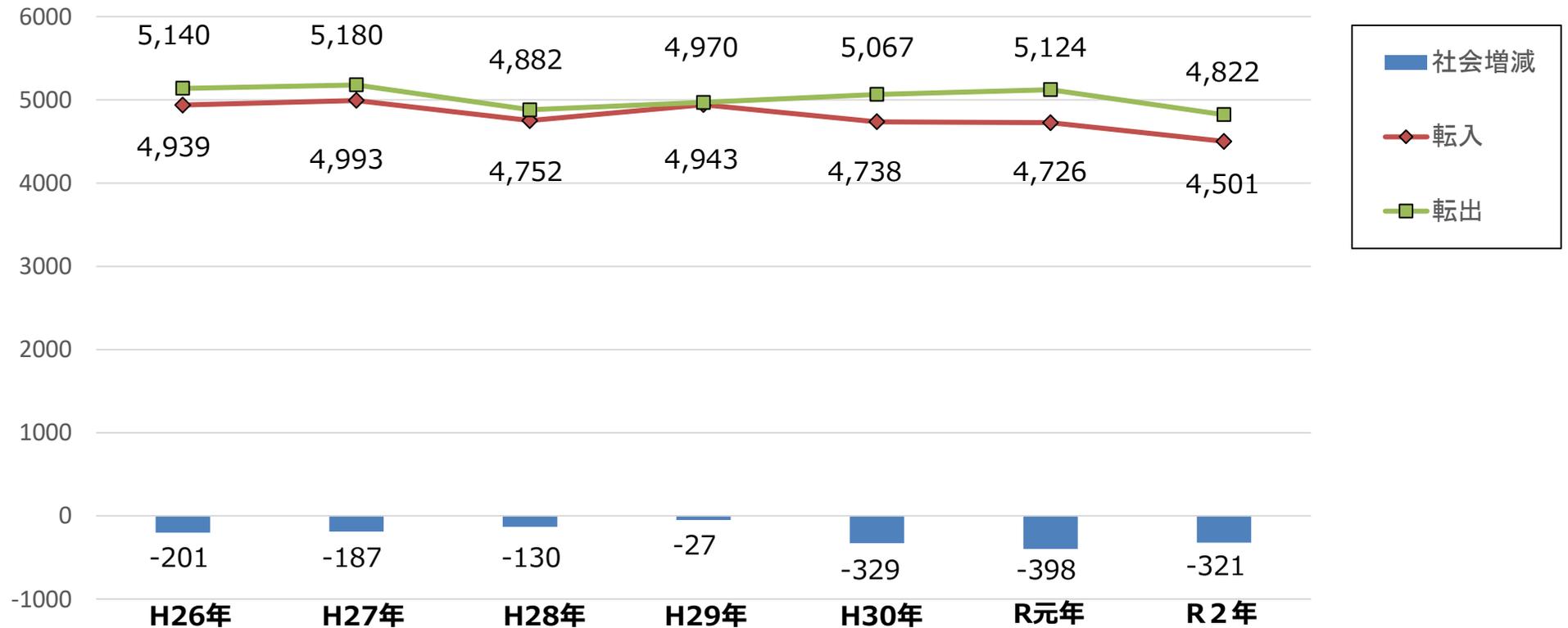


出典：住民基本台帳

- 出生数は、減少傾向にあり、5年前と比べ100人以上減少している。
⇒若年女性の流出が要因の一つと考えられる。
- 死亡数は、高齢化の進行とともに、さらに増加が見込まれる。

3-2 人口動態の推移（実績）（社会増減について）

社会増減の推移



出典：住民基本台帳

- ・令和2年度は令和元年度と比べ、転入・転出ともに減少しているが、転出超過の状態が続いている。
⇒高校卒業後に本市に戻ってくる子どもの割合が減少している。

4-1 主な取組状況と成果等（やってみたい仕事ができるまち）

■ 農林水産業の経営体制の強化

○ スマート農業機器等の導入状況

- ・ 農薬散布用ドローン
- ・ 環境制御装置
- ・ 分娩、発情監視システム



- ・ 環境制御装置によるハウス内データの計測・蓄積等



- ・ 分娩・発情監視システムによる管理作業の効率化
- ・ スマホに情報送信⇒死産が大幅に減少

■ 地域6次産業化の推進

- ・ 地域特性である第一次産業を基軸とした産業の振興
- ・ 産業連携（地域6次産業化）による新商品開発、高付加価値化や販路開拓・拡大を推進



■ 鳥獣被害対策の推進

- 「寄せつけない」「侵入を防止する」「個体数を減らす」取組の推進
- ・ 有害鳥獣侵入防止柵の設置等



4-2 主な数値目標・実績（やってみたい仕事ができるまち）

No.	指標	R元年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	R2年度 (実績値)	達成度	評価	R6年度 (目標値)	備考
1	スマート農業普及率（耕種） (分母) 認定農業者数：290戸 (分子) スマート農業機器の導入者数：17戸	0.9%	3%	5.8%	193.3%	◎	20%	今後もスマート農業機器の導入者数は増加が見込まれることから、引き続き、機器の導入支援を推進する。
6	かのやカンパチの新規取引件数	9件/年	2件/年	5件/年	250.0%	◎	2件/年	R2年度については、新型コロナ支援による学校給食関係等で増加したものの。
8	鳥獣被害額の抑制★	6,419千円/年	7,746千円/年	8,099千円/年	★ 4.6%	○	4,302千円/年	耕作放棄地の増加や山林の開発等により、人里に鳥獣の出没が増加している。当該数値目標は、3年に1度見直しを行う「鳥獣被害防止計画」に準じて設定されていることから、実績を踏まえ、R6目標値の見直しを検討する。
13	立地協定締結件数	5件/年	5件/年	1件/年	20.0%	△	5件/年	R2年度は、コロナ禍における企業それぞれの業況、新しい働き方への対応等を踏まえ、次のステップ（新設・増設等）に向けた準備期間と捉える企業が多かったため実績が1件であった。
14	事業後の雇用マッチング数	13人/年	30人/年	0人/年	0.0%	×	30人/年	R2年度は、新型コロナの影響により、合同就職面接会が中止になったため実績がゼロとなった。

◎…達成されている ○…概ね達成されている △…達成されていない ×…見直しが必要

(達成度：◎…100%以上、○…60%以上、△…20%以上、×…20%未満)

(★削減目標の場合：◎…0%以下、○…+40%以下、△…+80%以下、×…+80%を超える)

■ 関係人口の増加につながる施策の展開

○ ふるさと納税寄附額

年度	寄附額
R2	2,598百万
R元	2,554百万
H30	1,562百万

○ 令和2年度返礼品カテゴリ別ランキング (寄付額順)

- ①うなぎ ②焼酎 ③水 ④牛肉



■ スポーツ合宿・大会の推進

○ 産学官連携によるスポーツ合宿の誘致等

- ・ プロ野球 (甲斐拓也選手他)
- ・ 女子バレーボール (アランマーレ山形)
- ・ 男子ボクシング (日本男子ナショナルチーム)
- ・ 男子バスケットボール (鹿児島レブナイズ)



■ 多様な地域資源を生かしたツーリズムの推進



高速船を活用した鹿児島市民ツアー

- ・ 観光地域づくりに関する、地域内の多様な関係者の合意形成
- ・ 地域内観光素材の磨き上げ
- ・ 観光プロモーション活動の実施
- ・ 薩摩半島の小中学校修学旅行受入手配

5-2 主な数値目標・実績（いつでも訪れやすいまち）

No.	指標	R元年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	R2年度 (実績値)	達成度	評価	R6年度 (目標値)	備考
3	ばら園入園者数	81,465人 /年	112,000人 /年	74,805人 /年	66.8%	○	120,000人 /年	R2年度は、新型コロナの影響により、「ばら祭り2020春」は中止、「ばら祭り2020秋」も大型イベントを自粛し、規模を縮小しての開催となったため減少となった。
5	入込客数	1,533,034人 /年	1,500,000人 /年	892,356人 /年	59.5%	△	1,500,000人 /年	R2年度は、新型コロナの影響により、観光客が減少したため大幅な減少となった。
		県が取りまとめている数値（各種観光施設、イベント等への参加など）						
8	ふるさと納税寄 附件数	134,851件 /年	100,000件 /年	135,926件 /年	135.9%	◎	100,000件 /年	R元年度にふるさと納税制度の見直しが行われ、寄附件数が減少する見込みであったが、新型コロナの影響により、全国的にふるさと納税制度が認知されたことと、巣ごもり需用により寄附者が増加したことから、目標値の上方修正を検討する。
9	スポーツ合宿者 数	20,357人 /年	21,000人 /年	3,193人 /年	15.2%	×	25,000人 /年	R2年度は、新型コロナの影響により、予定されていた合宿が中止になったため大幅な減少となった。
12	相談窓口を經由 した移住者数	10人/年	50人/年	40人/年	80.0%	○	50人/年	R2年度は、新型コロナの影響により、移住イベントや移住体験活動が制限された。現在、移住させたい人（子育て世代）に届く情報発信、地域や事業所等との連携強化を図った戦略的な取組を行っている。

◎…達成されている ○…概ね達成されている △…達成されていない ×…見直しが必要

(達成度：◎…100%以上、○…60%以上、△…20%以上、×…20%未満)

(★削減目標の場合：◎…0%以下、○…+40%以下、△…+80%以下、×…+80%を超える)

■ 妊娠期から出産期における支援の充実

- 特定不妊治療に要する費用の一部助成の実施
 - ・ 年間あたり25万円～40万円を通算5年間、治療費を助成

	R2	➔	母子手帳 交付者
特定不妊治療 助成申請	96件		36人

■ 子育て支援策の推進

- 障がいのある児童への支援
 - 【早期発見への取組】
 - ・ 母子相談、乳幼児健診での面談
 - ・ 保育園等への巡回訪問
 - 【早期療養への取組】
 - ・ 通所支援
 - ・ 相談・訪問支援
 - ・ 医療的ケア児への支援



■ 鹿屋女子高等学校の活性化

- 新校舎共用開始 (R2年4月～)
 - ・ 県内トップクラスのICT環境で、タブレットや電子黒板を活用した授業を実施
- 総合選択制の導入
 - ・ 学科の枠を越えて、生徒自身の希望に科目を選択し、進学や就職につながるスキルアップを目指す。



■ 国際化社会で活躍できる人材の育成

- 英語教育の充実・強化
 - ・ イングリッシュキャンプの実施 等
5回 (カピックセンター、自然の家等)

	R2	➔	R6
参加者数	219人		260人



6-2 主な数値目標・実績（子育てしやすいまち）

No.	指標	R元年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	R2年度 (実績値)	達成度	評価	R6年度 (目標値)	備考
1	訪問産後ケア事業利用者数	143人/年	145人/年	140人/年	96.6%	○	165人/年	R2年度は、新型コロナの影響により、感染防止対策の観点から、訪問ができない時期があったため、目標達成ができなかった。
3	潜在的待機児童数 (3月末時点)★	136人	77人	152人	★ 97.4%	×	36人	年度途中で入所を希望する年齢層は、親の育児休業からの復職が主な理由から0～2歳児が大半を占めている。また、保育士不足により、受入ができない状況である。（0～2歳児は保育士を多く配置しなければならない。）
6	各種乳幼児健診受診率 各年度における7ヶ月児、1歳6ヶ月児、2歳児、3歳児が対象	92%	95%	83.4%	87.8%	○	95%	R2年度は、新型コロナ感染防止対策のため、健診1回当たりの対象者数を制限し、年度内に受診できない対象者が一部発生することとなり、R3年度の健診にずれ込んで受診する形になったため、受診率が減少した。
12	鹿屋女子高定員充足率	76%	100%	80%	80.0%	○	100%	生徒数は、年々増加傾向にあることから、今後も充足率向上に向けて、効果的なPR活動を行うとともに、総合選択制や部活動の活性化など、様々な魅力の創出に取り組む。
16	英検3級相当の英語力のある生徒の割合	37.5%	43%	46.1%	107.2%	◎	50%	R6年度の目標値は、国の第3期教育振興基本計画において、定められているもので、この目標値を各学校の外国語科担当者にも共有している。また、希望する中学生に対し、英検学習会を実施したため達成したものの。

◎…達成されている ○…概ね達成されている △…達成されていない ×…見直しが必要

(達成度：◎…100%以上、○…60%以上、△…20%以上、×…20%未満)

(★削減目標の場合：◎…0%以下、○…+40%以下、△…+80%以下、×…+80%を超える)

■公共交通の充実

○くるりんバスや乗合タクシーの運行

- ・市民の要望や利用状況等をもとに路線や運航時刻の変更
- ・「市街地巡回バス・北ルート」と「大始良地区」の2路線について、本格運行開始



○公共交通を補う多様な移動支援

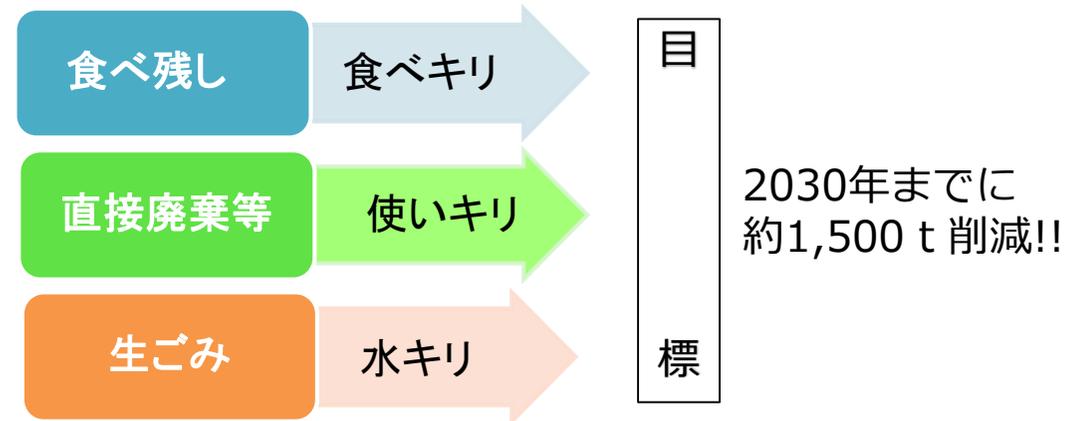
- ・高須地区での実証実験
- ・民間から提供された車両（電気自動車(時速20km)）を町内会が買い物支援に活用



■ごみ減量・リサイクルの推進

○第2次鹿屋市環境基本計画（令和2年3月策定）

- ・「未来につなごう ひとと自然環境にやさしいまち かのや」環境像に、ごみの減量やリサイクルの推進に取り組む



■消防・防災対策の充実

○新たな災害時支援協定

名称	締結日	相手方	主な内容
災害に係る情報発信等に関する協定	R2.9.9	ヤフー株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤフーアプリによる情報発信に関すること ・キャッシュサイトによる市ホームページの負担軽減に関すること
防災パートナーシップに関する協定	R2.11.24	株式会社南日本放送	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビデータ放送及びMBCアプリによる情報発信に関すること ・緊急時の放送の要請に関すること

7-2 主な数値目標・実績（未来につながる住みよいまち）

No.	指標	R元年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	R2年度 (実績値)	達成度	評価	R6年度 (目標値)	備考
3	くるりんバス及び乗合タクシー利用者数	36,046人/年	36,161人/年	31,320人/年	86.6%	○	46,000人/年	コロナ禍における外出自粛・利用控えが影響したものと考えられるが、利用者の高齢化が進んでいることから、ニーズに応じた運行内容の見直しや、乗合タクシーへの移行など、移動手段の最適化を検討する。
8	道路冠水箇所★	34箇所	32箇所	32箇所	★ 0.0%	◎	23箇所	R6年度までの目標値については、「鹿屋市総合雨水排水対策事業計画」に記載されており、スケジュールに沿って、排水路整備等を実施している。
		【整備箇所数】令和元年度：2箇所、令和2年度：2箇所						
9	市道の改良率	67.5%	67.9%	67.5%	99.4%	○	68.9%	整備中の路線の中で、2～3ヵ年での整備計画になる路線もあり、R2年度中に完了しない路線があったため達成できなかった。
		(分母) 市道総延長：1,450,598m (分母) 改良済：978,492m						
14	防災出前講座への参加者数	436人/年	500人/年	842人/年	168.4%	◎	600人/年	R2年3月に新たに作成した「防災マップ」の活用講座の回数が増加したことから、併せて参加者が増加した。(R2年度から配属された「防災専門官」を中心に推進した。)
22	一人当たりごみ排出量★	862g/日	817g/日	889g/日	★ 8.8%	○	780g/日	R2年度は、豪雨による災害ごみや、コロナ禍による家庭ごみ(片付けごみ)が増加したため一人当たりも増加した。

◎…達成されている ○…概ね達成されている △…達成されていない ×…見直しが必要

(達成度：◎…100%以上、○…60%以上、△…20%以上、×…20%未満)

(★削減目標の場合：◎…0%以下、○…+40%以下、△…+80%以下、×…+80%を超える)

8-1 主な取組状況と成果等 (ともに支えあい、いきいきと暮らせるまち)

■男女共同参画の推進

○女性が奏でるまちづくり事業の実施

- ・女性と変わる これからのワタシと鹿屋を考えるワークショップの開催 (3回実施、延べ54人が参加)

【テーマ】

- ・家庭と個人の活動を両立する
- ・職場で活躍する秘訣
- ・地域のコミュニティを築く



■健康づくり・生きがいの推進

○地域介護予防活動支援事業の推進

- ・鹿屋体育大学等と連携し、地域における住民主体の介護予防活動等の育成、支援

教室数	参加者数	参加者数延べ
14教室(106回)	136人	893人

■地域支援体制の充実



○川東町女子会

- ・女性町内会長誕生をきっかけに、地域への恩返し活動を展開
- ・荒廃竹林の整備活動 ⇒竹炭を作って販売



○高齢者サロン等の加入促進

- ・高齢者のサロン活動等を行う3人以上のグループに対し、新規加入者1人につき4000円を助成し、活動を支援 (上限5万円)



8-2 主な数値目標・実績（ともに支えあい、いきいきと暮らせるまち）

No.	指標	R元年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	R2年度 (実績値)	達成度	評価	R6年度 (目標値)	備考
2	成人の週1回以上のスポーツ実施率 (市民意識調査)	44.8%	48.2%	45.8%	95.0%	○	65%	R2年度は、30代、40代、60代のスポーツ実施率は向上したものの、新型コロナウイルスの影響により、グラウンドゴルフ大会等が中止になり、70代が大きく減少したことによるものと考えられる。
4	文化活動に関わる人の数	7,353人/年	5,200人/年	3,636人/年	69.9%	○	6,500人/年	R元年度は、初めて「文化ゾーンまるごとブックフェスタ」を開催（参加者約4,300人）したが、R2年度は新型コロナウイルスの影響でイベントが実施できなかったため減少した。
8	社会全体において男女が「平等である」と感じる人の割合（市民意識調査）	12.7%	16%	14.4%	90.0%	○	20%	R2年度は、新型コロナウイルスの影響で、外食機会が減ったことや、子供を預けにくくなったこと等により、女性の家庭における負担が増加したことが考えられる。また、イベント等の中止により広報啓発機会が減少した。
9	町内会加入率	70.9%	72.5%	70.0%	96.6%	○	73.0%	人口が減少する中、加入率を増加させることは極めて困難な状況にあり、R2年度も減少した。加入率向上に向けて、今後もこれまでの活動を継続するとともに、先進事例を調査・研究して魅力ある町内会づくりに取り組む。
12	個人・団体ボランティア活動者数	2,842人/年	1,850人/年	2,961人/年	160.1%	◎	1,850人/年	R3年3月に策定した、高齢者保健福祉計画において、実績を踏まえR5年度の目標を4,000人としたことから、上方修正を検討する。

◎…達成されている ○…概ね達成されている △…達成されていない ×…見直しが必要

(達成度：◎…100%以上、○…60%以上、△…20%以上、×…20%未満)

(★削減目標の場合：◎…0%以下、○…+40%以下、△…+80%以下、×…+80%を超える)

9 まち・ひと・しごと創生総合戦略 取組状況 (R2 総括) 17

基本目標	指標数 (事業数)	主な事業	K P I 達成状況 (R2 年度)		
			◎、○ 達成、概ね 達成	△ 未達成	× 見直しが 必要
基本目標① やってみたい仕事ができるまち	16 (14)	○スマート農業実証事業 ○食の魅力発信推進事業 など	10	3	3
基本目標② いつでも訪れやすいまち	16 (12)	○ふるさとPR促進事業 ○定住促進事業 など	11	4	1
基本目標③ 子育てしやすいまち	21 (19)	○妊産婦乳幼児健康診査事業 ○鹿屋女子高活性化事業 など	18	1	2
基本目標④ 未来につながる住みよいまち	27 (22)	○総合交通対策事業 ○環境対策推進事業 など	25	1	1
基本目標⑤ ともに支えあい、いきいきと暮らせるまち	16 (12)	○文化のまち鹿屋魅力アップ事業 ○男女共同参画推進事業 など	12	3	1
合 計	96 (79)		76 (79%)	12 (13%)	8 (8%)

10 総合戦略を推進するための新たな取組（R3新規・拡充）

基本目標	事業名等	概要
基本目標① やってみたい仕事ができるまち	地域6次産業化推進事業（拡充）	<ul style="list-style-type: none"> ④ 地域資源を生かした新たな食・農ビジネスの創出 <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を生かした食・農に関する新たなビジネスを創出するためのフォーラムを開催 ④ 新たな生活様式に対応した販路開拓支援 <ul style="list-style-type: none"> ・リモート商談会の開催による販路開拓支援 ・ECサイト（電子商取引）導入等に係る経費を支援
	スマート農業推進事業（拡充）	<ul style="list-style-type: none"> ④ スマート農業の加速化支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ハウス内環境データを収集・蓄積し、施設園芸のスマート化を加速させるための統合環境制御装置の導入支援 ・作業の効率化・省力化を図るための農薬散布用ドローンの導入支援
	がんばる畑作応援事業（拡充）	<ul style="list-style-type: none"> ④ 輪作によるさつまいも基腐病対策支援 <ul style="list-style-type: none"> ・他作物への転換により、菌密度の低減に取り組む農家の支援
	高品質かのや和牛産地化事業（拡充）	<ul style="list-style-type: none"> ④ 繁殖・肥育農家支援の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・高品質な和牛生産による「和牛のふるさとかのや」の産地力強化のため、優良肥育素牛や優良繁殖雌牛の導入や牛舎整備等を支援
	企業誘致サポート事業（拡充）	<ul style="list-style-type: none"> ④ サテライトオフィスの誘致促進 <ul style="list-style-type: none"> ・サテライトオフィス誘致の誘因策の新設 ④ 企業誘致サポーター制度の創設 <ul style="list-style-type: none"> ・企業進出情報の収集や誘致活動のサポート・助言を行う企業誘致サポーターと連携し、効果的かつ効率的な誘致活動を実施
	人材確保・担い手育成事業（拡充）	<ul style="list-style-type: none"> ④ 雇用支援施策構築のための調査・分析 <ul style="list-style-type: none"> ・地元雇用の拡大に向けた施策を構築していくため、アンケート調査や企業への訪問等を行い、市内企業の雇用の実態や問題点の分析を実施

10 総合戦略を推進するための新たな取組（R3新規・拡充） 19

基本目標	事業名等	概要
基本目標② いつでも訪れやすいまち	戦争遺跡保存活用事業 （拡充）	㊦ 戦争関連資料映像制作 ・戦争遺跡のV R映像化(串良基地跡、笠野原基地跡、金浜海岸)
	ばらを活かしたまちづくり推進事業（拡充）	㊦ かのやばら園リニューアル構想策定 ・専門家等による検討委員会を設置し、さらなる魅力あるばら園となるようリニューアル構想を策定
	スポーツによる交流促進事業（拡充）	㊦ サイクリストサポート施設の整備 ・自転車走行環境の整備のために、市内25箇所の民間・公共施設にサイクルスタンドや空気入れ等を設置 ㊧ ホームタウンチームへの支援 ・新たに設立した地元プロスポーツチームを加えた2チームに対してユニフォームへの広告掲載やP Rグッズの製作費を支援
	スポーツ施設整備事業 （拡充）	㊦ スポーツ施設の整備 ・鹿屋中央公園（照明L E D化、グラウンド改修） ・鹿屋運動公園（ウレタン舗装改修） ・野里運動公園（サッカー場1面、テニス場9面、管理棟）設計
	人口維持・移住促進事業（拡充）	㊦ 若者の出会いの場づくり ・イベントの開催や趣味に特化した講座を開催するなど、若者の出会いの場を創出し、結婚のきっかけづくりをサポート ㊧ 移住希望者への情報発信 ・本市への移住希望者に向けた受入体制の強化や新たにP R動画を制作し、効果的な情報を発信

10 総合戦略を推進するための新たな取組（R3新規・拡充）

基本目標	事業名等	概要
基本目標③ 子育てしやすいまち	子ども医療費助成事業 （拡充）	⑧ 医療費無償化の拡充 ・助成対象：高校卒業まで ・助成開始：令和3年4月の保険診療分から ⑧ 窓口負担の無料化（現物給付方式）の拡充 ・非課税世帯の高校生までに拡充
	不妊治療費助成事業 （拡充）	⑧ 所得制限：1世帯当たり730万円未満としていた所得制限を撤廃
	ICT教育推進事業 （新規）	⑨ ICT機器を活用した英語力強化 【小学校6年生】 ・タブレット端末を活用した英語技能を測るテスト「スピーキングクエスト」を実施 ・自宅や学校の端末を使ってWEB上で学習可能 【中学校全学年】 ・県事業を活用した「英検IBA」を実施 ・自宅や学校の端末を使ってWEB上で学習可能 ⑨ GIGAスクールサポーターの配置 ・学校における機器障害やネットワークトラブル等への対応 ・教職員や管理者向けの各種研修会の実施 ⑧ デジタル教科書（指導者用教材）の導入 【小学校5、6年生】 ・社会、理科 【中学校全学年】 ・国語、数学、英語、理科、社会
	鹿屋女子高活性化事業 （拡充）	⑨ 鹿屋体育大学との連携などスポーツ分野の強化 ・鹿屋体育大学施設での最新機器を用いたスキル測定 ・大学教員による専門的視点からの指導者向け講座の実施 ⑧ 楽器の充実（楽器購入、楽器ふるさと納税の実施）

10 総合戦略を推進するための新たな取組（R3新規・拡充） 21

基本目標	事業名等	概要
基本目標④ 未来につながる住みよいまち	雨水排水対策事業（拡充）	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 排水路負荷軽減対策の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・ 5号排水路の負荷軽減対策のための防災調整池の有効性等に関する調査研究 ☑ 流域分散排水路の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新川地区への雨水の流入の防止及び分水のための排水路整備 ④ 公共施設用地への流出抑制施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 都市公園等に雨水を一時的に貯留し、下流側への排水量を軽減させる流出抑制施設を整備
	二次救急医療体制支援事業（拡充）	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 重症救急患者の受入を行う医療機関への助成制度の創設 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大隅地域の9医療機関（公立病院除く）に対し、救急搬送受入者×13,000円（上限2千万円/病院）の助成を行う
	防災・減災対策事業（拡充）	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 大規模盛土造成地変動予測調査 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大規模盛土の調査及び安全性の評価の実施
	環境対策推進事業（拡充）	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 「鹿屋市環境フォーラム2021」の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ SDGs（環境対策）を推進するための機運醸成（基調講演や子供向けワークショップの開催） ④ 畜産環境対策等の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 鹿屋市畜産環境センター利用農家の自己処理施設の整備支援
基本目標⑤ ともに支えあい、いきいきと暮らせるまち	農福連携・障害者支援事業（新規）	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 農福連携推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい者に就労の機会を提供するとともに、農家の労働力を確保するため、就労支援施設と農業者のマッチングを行う ☑ 遠隔手話サービスの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 聴覚障害者が通院等で手話通訳者の同行が困難な場合に、関係機関と連携してスマホ等を通じた遠隔手話サービスを提供 ☑ 医療的ケア児の安全対策事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器を使用する医療的ケア児の停電時等の安全を図るため、通所等施設における自家発電機器の整備を支援

10 総合戦略を推進するための新たな取組（R3新規・拡充）

基本目標	事業名等	概要
基本目標⑤ とともに支えあい、いきいきと暮らせるまち	アプリを活用した運動習慣定着化事業（新規）	⑧ 健康づくりアプリの導入 ・オンライン方式によるスポーツイベントの実施 ・目標歩数達成者への特典の提供
	共生協働・コミュニティ活動推進事業（拡充）	⑨ 女性が奏でるまちづくり ・女性向けセミナー・ワークショップに加え、新たに男性向けセミナーを開催
市政運営	スマート自治体推進事業（新規）	⑧ 「行かない」市役所 ・証明書等オンライン申請・決済システム導入 ⑧ 「書かない・待たない」窓口 ・申請書事前作成システム導入、申請内容を管理システムに自動入力 ⑨ 効率的・効果的な行政運営 ・自治体クラウドの推進 ・電子決裁システム活用促進 ⑨ スマート職員育成研修の実施
	クラウドファンディング型ふるさと納税の活用（新規）	⑧ クラウドファンディング型ふるさと納税活用事業 ・戦跡保存・平和の架け橋プロジェクト ・スポーツ都市かのや推進プロジェクト ・あいら川プロムナード整備プロジェクト ⑧ クラウドファンディング・YouTubeセミナーの開催